

どんぐりマーケットの実践事例

実践紹介校：仙台市立郡山中学校

【実践内容】

どんぐりマーケットに参加する目的は

1. 商品の企画，デザインなどの活動を通して，起業家精神を育む。
 2. チャレンジ精神やコミュニケーション能力，情報収集・分析能力などを養う。
- とした。

目的を達成するために，

1. 市場調査
 2. 商品の企画・デザインとその選抜
 3. 予算内での商品やポスターの作成
 4. どんぐりマーケット出品
- の内容で実践した。

子どもがわくわくするデザインを考えよう！

○どんぐりマーケットで出品する商品を考えよう。子どもたちが手にとってわくわくするようデザインを市場調査から考えよう。

デザインを考えようポイント

- 市場調査に合った商品を考えよう。(Chromebookで調べてもOK)
- 子どもが楽しくおもしろいデザインの商品(子どもが喜ぶ商品)

自由な発想で考えておくれ。できる人は絵も描いてみよう！

デザインを描いてみよう！

+ ONE

では人はこのデザインを作るための材料を考えよう！

材料を覚えておこう

紙、のり、ペン、ハサミ、糊、絵の具

デザイン選抜↓

←市場調査
商品の企画→

商品製作↓

どんぐり
マーケット
出品→

【まとめ・成果・課題・今後に向けて】

生徒の感想では以下のことがあった。

- ・学んだことは、企画性と協力性。制作することは大変だったが、協力することで心強さがあり、完成できた。制作したものを子どもたちに喜んでもらえて、頑張ったかいがあった。これからも企画性、協力性を向上させたい。
- ・今回楽しませるにはどのようにすればいいかを考え、形にすることが楽しいことを実感できた。これからは人を楽しませられるような人になりたい。

実践してみたの成果は、商品の企画，デザインなどの活動を通して，生徒の生き生きとした表情，達成感を得られた学習になった。チャレンジ精神やコミュニケーション能力，情報収集・分析能力などを養うことにつながった。市場調査で考えていた年齢層が幼児向けとしていたが，小学生が多いことで商品を販売することに少し苦勞した。しかし，どのように販売するか（値段を下げること，まとめ売りや実践販売）をその場で考え実行することができた。この実践は，起業家精神を育むことにつながったと思われる。課題は準備のための時間の確保であり，前年度から年間予定に組み込む必要があった。今後その点に留意して実践することが必要である。